

## お気に入りの「牛タン」見つけて下さい

一葉種、寡葉種のストレプトカーパス開花

イワタバコ科のストレプトカーパスは、近年人気が高まっています。南アフリカ原産でケーププリムローズ（アフリカのさくらそう）と呼ばれ、春秋に最もよく咲きます。茎の伸びるタイプと伸びずに葉がタンポポのようにロゼット化するものがあります。

一葉種のストレプトカーパス（ウシノシタ）は、発芽した双葉の片方の一枚が大きくなるだけで一生を終える特徴のある植物です。双葉の片方はほとんど生長せずにやがて無くなります。開花結実後は種子を残して枯れてしまいます。発芽から開花までの期間は種類によって異なり、1～5年で咲きます。近年には珍しく今年も7種類が同時期に咲きました。2020年に日本植物園協会ナショナルコレクションにフラワーセンターのストレプトカーパスコレクションが認定され、この7種ともナショナルコレクション認定種です。大温室室内ゲスネリア室で展示中。種類によりますが7月中旬までが見頃です。

- ① 認定番号 0020 ストレプトカーパス・ウエンドランディー（*S. wendlandii*（ウシノシタ））

大きさが60cmを超える大型種で、花はスミレ色で白いすじが入ります。

- ② 認定番号 0010 ストレプトカーパス・デンティクラツス（*S. denticulatus*）

中型種で葉の表面は光沢がある。ピンク色の小花をつけます。

- ③ 認定番号 0002 ストレプトカーパス・クックソニー（*Streptocarpus cooksonii*）

花は濃紫色で中央部白色の2色咲

- ④ 認定番号 0059 ストレプトカーパス・バンデレウリー（*Streptocarpus vandeleurii*）

花は淡クリーム色 花筒の底は黄色の斑紋。本種には珍しく芳香があります。

発芽後開花まで5年かかります。

- ⑤ 認定番号 0037 ストレプトカーパス・ミシェルモレイ（*Streptocarpus michelmorei*）

花はスミレ色 花筒の奥濃紫色。

- ⑥ 認定番号 0003 ストレプトカーパス・クーペリ（*Streptocarpus cooperi*）

花は濃紫色 中央部白色との2色。

寡葉種は一葉種に似ていますが、毎年1ないし数枚の葉を発生する多年草です。しかしロゼットのように多数の葉が出ることはありません。

- ⑦ 認定番号 0050 ストレプトカーパス・プシルス（*Streptocarpus pusillus*）

小型の種類で花は白色



クックソニー

プシルス

バンデレウリー

クーペリ



デンティクラツス

ウシノシタ

ミシレイ

※ナショナルコレクションに登録されている一葉種等は約 20 種。すべての種類を一斉に育てるにはバックヤードの場所が足りないため、種子を冷蔵保存しておき、一年に一度、順に数種類を種まきして保全している。同時期に播いた同じ種類でも、一シーズン開花がずれることはしばしみられる。